分野	専門分野	単位数	1	時間数	15
授業科目	母性看護学概論	学年時期	1年次　後期		
担当講師 (実務経験)	専任教員（助産師：臨床実務経験有）				
科目目標	母性保健の意義及び動向について学び、母性看護の概念、目的、対象、役割機能、母性を支えるシステムについて理解できる。				

回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
1	2	母性看護の基盤となる概念	講義	専任教員
2	2	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	講義	専任教員
3	2	母性看護の対象理解	講義	専任教員
4	2	女性のライフステージ各期における健康問題と看護①	講義	専任教員
5	2	女性のライフステージ各期における健康問題と看護②	講義	専任教員
6	2	リプロダクティブヘルスに関する主要な健康問題と看護①	講義	専任教員
7	2	リプロダクティブヘルスに関する主要な健康問題と看護②	講義	専任教員
8	1	終了試験	試験	専任教員

評価方法	終了試験の成績(100点満点)、講義への出席状況、参加態度、課題の提出で総合的に評価する
評価基準	60点以上で合格　60点未満の場合は再試験(1回のみ)
テキスト	系統看護学講座　専門分野　母性看護学概論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　母性看護学各論　医学書院 国民衛生の動向・厚生の指標　財団法人厚生統計協会
参考文献	病気がみえる　vol.9　婦人科・乳腺外科　メディックメディア 病気がみえる　vol.10　産科　メディックメディア
備考	母性看護の対象である女性の特徴を理解し、ライフサイクル各期における健康問題と看護について系統的に学習します

分野	専門分野	単位数	1	時間数	15
授業科目	母性看護学方法論Ⅰ	学年時期	2年次　前期		
担当講師 (実務経験)	産婦人科医師				
科目目標	妊娠前からの医療・周産期の経過と周産期に起こりやすい健康問題の原因・症状・経過を理解できる。				

回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
1	2	出生前診断と不妊治療	講義	産婦人科医師
2	2	妊娠期の身体的特性と、妊婦・胎児のアセスメント	講義	産婦人科医師
3	2	妊娠期の健康問題	講義	産婦人科医師
4	2	分娩の要素と分娩の経過	講義	産婦人科医師
5	2	分娩期の健康問題	講義	産婦人科医師
6	2	産褥経過と産褥期の健康問題	講義	産婦人科医師
7	2	新生児の生理と新生児の健康問題	講義	産婦人科医師
8	1	終了試験	試験	

評価方法	終了試験の成績(100点満点)、講義への出席状況、参加態度、課題の提出で総合的に評価する
評価基準	60点以上で合格　60点未満の場合は再試験(1回のみ)
テキスト	系統看護学講座　専門分野　母性看護学概論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　母性看護学各論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　小児看護学概論・小児臨床看護総論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　小児臨床看護各論　医学書院
参考文献	
備考	講義を中心に周産期とその生理的変化、それに伴う健康問題について映像や図、モデルを用いてイメージできるように学習します。

分野	専門分野	単位数	1	時間数	30
授業科目	母性看護学方法論Ⅱ	学年時期	2年次　後期		
担当講師(実務経験)	①臨床助産師(助産師：臨書実務経験あり)				
	②専任教員（助産師：臨床実務経験あり）				
科目目標	妊娠・分娩期を通して母子の健康維持・促進に向けた看護の役割や援助方法について理解できる。				

回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
1	2	妊娠期の経過	講義	②
2	2	妊婦と胎児の診断とアセスメント	講義	②
3	2	妊婦と家族の看護①	講義	②
4	2	妊婦と家族の看護②	講義	②
5	2	妊娠期の事例による看護過程の展開	協同学習	②
6	2	妊娠期に必要な看護技術	演習	②
7	2	妊娠期の健康問題に関する看護①	講義	②
8	2	妊娠期の健康問題に関する看護②	講義	②
9	1	中間試験	試験	②
10	2	分娩の経過	講義	①
11	2	産婦・胎児、家族のアセスメント	講義	①
12	2	分娩期の看護（分娩第Ⅰ期から4期の看護）	講義	①
13	2	分娩期の事例による看護過程の展開	協同学習	①
14	2	分娩期の健康問題に関する看護	講義	①
15	2	分娩期に必要な看護技術（産痛緩和・呼吸法・胎盤計測含む）	演習	①
16	1	終了試験	試験	①

評価方法	中間・終了試験の成績(合計100点満点)、講義への出席状況、参加態度、課題の提出で総合的に評価する
評価基準	60点以上で合格　60点未満の場合は再試験(1回のみ)
テキスト	系統看護学講座　専門分野　母性看護学概論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　母性看護学各論　医学書院 石村由利子編：根拠と事故防止からみた母性看護技術　医学書院
参考文献	病気がみえる　vol.10　産科　　メディックメディア 佐世正勝/石村由利子編集 ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図　医学書院
備考	周産期の経過と健康問題を想起しつつ、事例などを用い妊娠・分娩期のアセスメントの視点を学び、各期に応じた援助方法を演習を通して学びます

分野	専門分野	単位数	2	時間数	90
授業科目	母性看護学方法論III	学年時期	2年次後期		
担当講師 (実務経験)	①臨床助産師(助産師：臨床実務経験あり)				
	②専任教員（助産師：臨床実務経験あり）				
科目目標	産褥・新生児期を通して母子の健康維持・促進に向けた看護の役割や援助方法について理解できる。				

回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
1	2	産褥期の経過	講義	②
2	2	褥婦のアセスメント	講義	②
3	2	褥婦と家族の看護	講義	②
4	2	産褥期の事例による看護過程の展開	協同学習	②
5	2	産褥期の健康問題に関する看護	講義	②
6	2	産褥期に必要な看護技術①（産褥体操・全身状態の観察）	演習	②
7	2	産褥期に必要な看護技術②（授乳介助・乳管開通法）	演習	②
8	1	中間試験	試験	②
9	2	新生児の生理	講義	①
10	2	新生児のアセスメント	講義	①
11	2	新生児の看護	講義	①
12	2	新生児期に必要な看護技術①（抱き方・おむつ交換・沐浴・更衣・臍処置）	演習	①
13	2	新生児期に必要な看護技術②（Vs測定・調乳・保育器の扱い方）	演習	①
14	2	早期新生児の健康問題に関する看護	講義	①
15	2	新生児の事例による看護過程の展開	協同学習	②
16	1	終了試験	試験	①

評価方法	中間・終了試験の成績(合計100点満点)、講義への出席状況、参加態度、課題の提出で総合的に評価する
評価基準	60点以上で合格　60点未満の場合は再試験(1回のみ)
テキスト	系統看護学講座　専門分野　母性看護学概論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　母性看護学各論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　小児看護概論・小児臨床看護総論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　小児臨床看護各論　医学書院 石村由利子編：根拠と事故防止からみた母性看護技術　医学書院
参考文献	病気がみえる　vol.10　産科　　メディックメディア 佐世正勝/石村由利子編集　ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図　医学書院
備考	周産期の経過と健康問題を想起しつつ、事例などを用い産褥期・新生児期のアセスメントの視点を学び、各期に応じた援助方法を演習を通して学びます